

虫刺されに注意！

今年は暑くなるのが早く、5月頃から蚊の姿が見られるようになりました。

蚊はデング熱やジカ熱、日本脳炎などの原因ウイルスを媒介します。蚊は人の皮膚臭や呼気中の二酸化炭素により、人に誘引されます。

蚊は忌避剤(一般的な虫よけスプレー等)の成分を嫌い塗布した部分には近寄らないため、それを使用することにより、蚊に血を吸われることを避けることができます。忌避剤の成分で、医薬品・医薬部外品として認められているものは、次の2種類です。

①ディートは、1964年に米軍が兵士用に開発しました。蚊やブヨ、アブ、ノミ、イエダニ、マダニ、サシバエ、ツツガムシ、トコジラミ等に効果がみられます。注意点は、12歳未満には使用回数の日安が設けられていることです。6か月未満の乳児には使用しないこと、6か月以上2歳未満は1日1回、2歳以上12歳未満は1日1~3回となっています。

②イカリジンは2016年に発売となった、日本では新しい成分です。ディートに対して、対象となる虫は蚊、ブヨ、アブ、マダニと少なめです。特に年齢制限は設けられていません。

他に、ハッカ油やユーカリ油などの天然成分を主成分とする虫よけも販売されています。

いずれも、使用上の注意をよく読んで使用し、虫に刺されにくい快適な夏を過ごしましょう。

